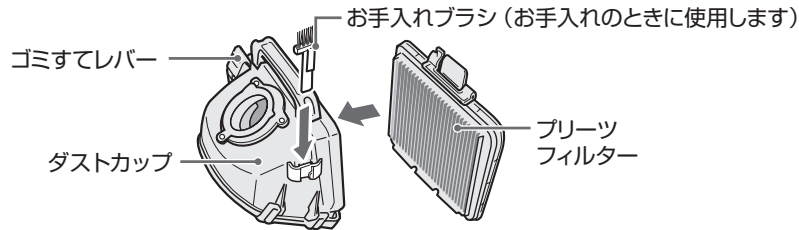
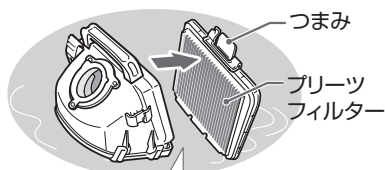
ご使用前に必ずお読みください

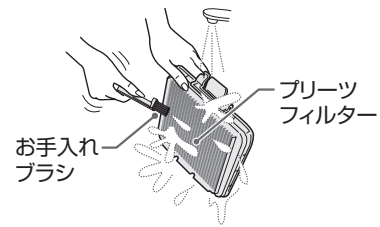
サイクロン式のクリーナーは、紙パックを使わずにダストカップ内にゴミをためます。
ゴミの種類により、少量のゴミでも吸込力が弱くなる場合があります。
このようなときは、ダストカップ・中カップ・プリーツフィルターのお手入れをしてください。
吸込力を持続させるために、お掃除が終わったらこまめにゴミを捨ててください。

ダストカップの構成

ゴミを捨てても吸込力が弱いときは、プリーツフィルター・ダストカップ・中カップをお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）

プリーツフィルターのお手入れ

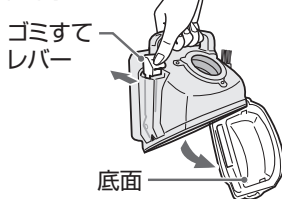
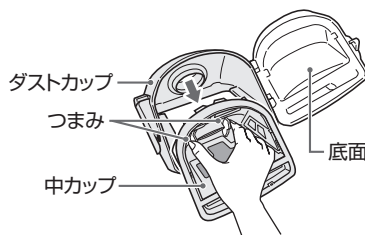
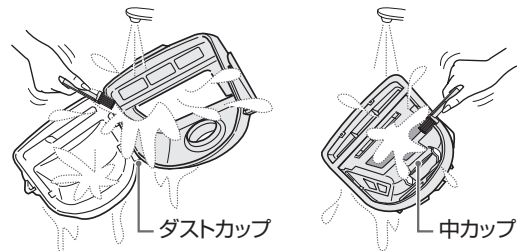
プリーツフィルターをはずし、水洗いする

①つまみをもち、フィルターをはずす

②水洗いをする

●プリーツフィルターを広げながらお手入れブラシで洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

お願い
●プリーツフィルターのお手入れには付属のお手入れブラシ以外のものを使わないでください。破損の原因になります。

ダストカップ・中カップのお手入れ

ダストカップ内の中カップをはずし、水洗いする

①ゴミすてレバーを押し、底面を開く

②中カップのつまみを持ち、はずす

③ダストカップ・中カップを水洗いする

お願い
●吸込力を持続させるために、定期的に点検してください。
（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります。）
●フィルターは強く引っ張らないでください。破損の原因になります。
●性能·品質を保証できませんので、洗剤·漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったり、暖房器具、ドライヤーで乾かさないでください。
●水洗い後、プリーツフィルター・ダストカップ・中カップにゴミが残ったまま乾燥しますと、臭いが発生することがあります。
●お手入れ後は、必ず十分に乾燥させてからセットしてください。ぬれたままご使用になると故障の原因になります。
（乾燥時間は、日陰の風通しの良い場所で、約１日（24 時間）が目安です。）
●プリーツフィルター・中カップは必ず取り付けてください。故障の原因になります。
（プリーツフィルターを付け忘れるとふたが閉まりません。）

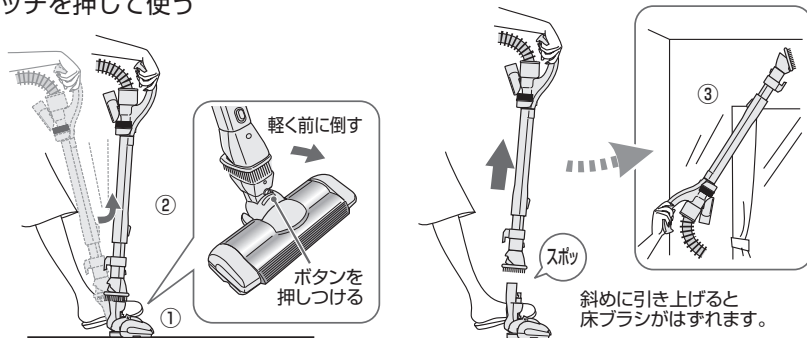
新しいプリーツフィルターはお買い上げの販売店を通じて取りよせることができます。（有料）

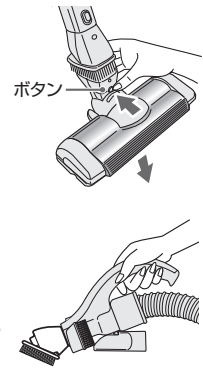
詳しくは、取扱説明書をご覧ください。（裏面もご覧ください）

ご使用前に必ずお読みください

ワンタッチどこでもブラシについて

ワンタッチどこでもブラシの使いかた

①（切）を押して運転を止め、床ブラシを足で軽く押さえる
②伸縮延長管を前に倒しながら、グリップを上に引き上げてはずす
③手元スイッチを押して使う

●床ブラシは、ボタンを押して手ではずすこともできます。

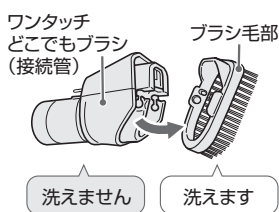
●ワンタッチどこでもブラシは、ホース先端に差し込んでも使えます。

お願い

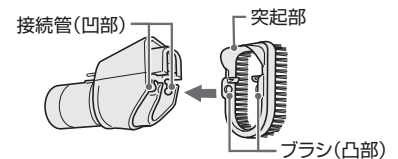
●運転中は、床ブラシの着脱をしないでください。
●無理に延長管を前に倒さないでください。故障の原因になります。
●延長管を前に倒しすぎて上図のように約垂直状態になると床ブラシでのお掃除はできません。ワンタッチどこでもブラシをお使いになるとき以外は、延長管を無理に前に倒さずにお掃除してください。

お手入れ…ブラシ毛部は、はずして水洗いできます。

1 ワンタッチどこでもブラシ（接続管）を持ち、ブラシ毛部を横方向に軽くひねりながらはずす

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

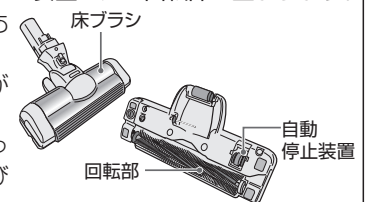
お願い

●接続管は、水洗いしないでください。

3 ブラシ毛部の突起部がある方を上にして、ブラシ（凸部）を接続管（凹部）に片方ずつ、カチッと音がするまではめ込む

床ブラシについて

⚠警告

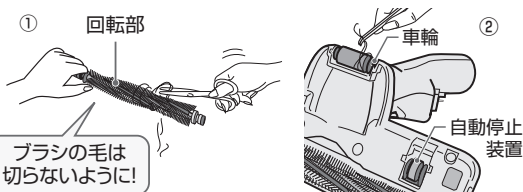
床ブラシ・ブラシの回転部、自動停止装置など底面や、本体の排気口付近には触れない
手など、けが・やけどの原因になります。**特に小さなお子さまにご注意ください。**

この床ブラシには、自動停止装置がついており、床ブラシを床面に置くと回転部が回転し、床面から浮かすと安全のため回転部が止まります。

●床ブラシを振ると「カラン」と音がしますが、自動停止装置のボールとレバーの作動音で故障ではありません。
●床ブラシは、床面にゆっくりとおろしてご使用ください。落とすように使用すると、自動停止装置がはたらき、回転部の回転が止まることがあります。
●ホットカーペットや毛足の長いじゅうたん、毛の密度の高いじゅうたんなどじゅうたんの種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。このようなときは、（切）を押し、運転を止め再び（強/弱）を押してお使いください。

床ブラシのお手入れ…

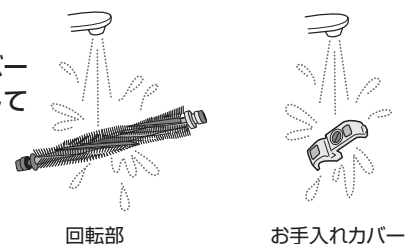
週に１～２度、お掃除の最後に点検し、回転部や車輪にゴミがからみついている場合や汚れが気になる場合はお手入れしてください。回転部にゴミがからみつくと、回転部が回らなくなります。

回転部のお手入れ

①回転部に糸くずや毛・ペット毛などがからみついたときは、はさみで切り、取りのぞく
②自動停止装置にからみついたゴミ、車輪のまわりに入ったゴミは、ピンセットで取りのぞく

●ゴミがたまったままお使いになると、車輪が回らず、床、たたみを傷つけることがあります。

水洗い

回転部、お手入れカバーを水で洗い、陰干しして十分に乾燥させる。

回転部

お手入れカバー

お願い

●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミすてサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取りのぞいてください。
●回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。故障の原因になります。

詳しくは、取扱説明書をご覧ください。（裏面もご覧ください）